

公開・非公開の別	<input type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 部分公開
	<input checked="" type="checkbox"/> 非公開	

※「(1) 審議の内容」における記号の説明

「○」…委員の発言

「◎」…事務局の発言

「◇」…事業者の発言

## 第6回浜松市斎場再整備事業における

### 浜松市 PFI 等審査委員会会議録

- 1 開催日時 令和5年9月12日(火) 午前9時15分から
- 2 開催場所 浜松市役所本館6階 第5委員会室
- 3 出席状況 出席委員 寒竹 伸一(静岡文化芸術大学)  
加山 秀剛(日本公認会計士協会東海会静岡県会)  
伊庭 良知(一般社団法人国土政策研究会)  
新谷 直幸(市民部)
- 事務局 市民生活課  
大城課長、藤原補佐、小池グループ長、清陀、斎藤、小池
- 4 傍聴者 非公開の為、0人
- 5 議題、内容及び結果

#### (1) 審議の内容

##### 議題1 事業者ヒアリング

##### Aグループ ヒアリング

(自己紹介)

(プレゼンテーション)

(質疑応答)

○中沢子どもの森のワークショップとあるが、具体的にはどういふことをやるのか。

◇5段階のワークショップを想定している。第1段階は、まず中沢子どもの森について地域住民の皆様と考え、2段階目でアイデアを言葉や絵にしてどう使っていかかを計画し、第3段階でできることから試してみたり使ってみたり、実際のフィールドワークを検討している。4番目では、中沢子どもの森の整備を実施し、5番目の運営段階の活用へつなげていきたというところでの現時点での想定をしている。代表企業の関連会社で地元の住民とのワークショップ等を受け持つ会社があり、こちらと連携しながら行い、ワークショップの中から出てきたアイデアを整備に反映させて整備していくことを考えている。

- 銀行からの融資の確約は、どのようなエビデンスでいただいているか。
- ◇アレンジャー、それからメインのレンジャーとなる静岡銀行様、それから市内の2つの信用金庫様それぞれから融資確約書、それから条件も記載した条件規定書と合わせて取得している。
- 一筆書きの車両動線計画だと、駐車場に戻るのが大変かと思ったが、そのあたりどうお考えか。
- ◇大型バス、自家用車ともにゆとりをもった軌跡を計画しており、安全に戻ってこられる計画である。
- 雄踏斎場増設棟の多目的広場の提案について、行政としてはどうしてもできること、できないことがあるため、多目的広場の構成物や運営についてある程度の調整を行うことは可能であるか。
- ◇今回我々としては、住民の方とのヒアリングの結果も踏まえて、どちらかという地域住民の方への利用のほうが多いかと判断し、地域振興ということで、無駄な施設、ファニチャーを極力排除して広く何かに使ってもらうことを想定した提案をさせていただいたが、ご意見をいただきながら、可能な限り調整させていただく考えである。
- どういうお考えから、浜松斎場をまち並みに対して45度振って計画しているのか。
- ◇浜松斎場のコンセプトを市街地の森にたたずむ斎場ということで、敷地内だけでなく、中沢子どもの森や墓苑、これらを一体のエリアとしての緑地帯の中にたたずむものとして捉え、新斎場の顔を南西向きに捉えて、東側道路からのアプローチに対する顔づくりとしては、勾配屋根を設けて少しボリュームを抑えたような格好で計画をさせていただいた。それと、まち並みに対してはどうしても壁面のデザインになるので、少し圧迫感を軽減するというので、メンテナンス性にも配慮したバルコニー形状の水平ラインを強調する形で階層を分離、分設するようなデザインを施して、周辺のまち並みに対しても圧迫感を与えないような配慮をしている。
- SPCの経営はどのように考えているか。
- ◇SPCの出資比率は、代表企業が40%の出資で考えている。考え方としては、我々グループの中でいろいろと意見を調整しながら進めたいということも考えているので、代表企業の出資を40%に抑えて、そのほか、特に維持管理運営がかなり長期の事業になるので、維持管理運営企業の出資の比率も高くして臨むという体制である。
- 日々のSPCと市とのやりとりといった辺は誰が担われるのか。
- ◇浜松市様のお考えもあろうかと思うので、そこは柔軟に対応したいが、大きくSPCとしての意思決定や事業全体のところについては代表企業の統括責任者を置き、そこが窓口となって情報の漏れがないよう受け止めた上で、各企業の情報を展開していくという形での階層的な仕組みというものを想定している。
- その方は浜松に常駐されるのか。
- ◇そうである。浜松市内にいる代表企業の者である。
- 雄踏斎場の既存棟改修の件で、土砂災害の特別警戒区域内に増築することが不可能ということで、建屋を増築する計画をこの区域を外してという提案をされているが、

その構造は建築基準法上で問題ない構造になっているのかという点と、災害等に対しての強い構造であるかといった点のお考えを伺いたい。

◇バグフィルターの建屋を、元々は平置きでレッドゾーンに置いていて、一応土砂災害防止法のレッドゾーンにかかるというのは承知ではあったが、その建屋は特に建築基準法の建築物ではないということもあり、特に規制のかかるものではないという判断をしていた。ただ、ご指摘の条例により、もし不可ということであれば、レッドゾーンの特別警戒区域からイエローゾーンの警戒区域に移動せざるを得ないということで、そちらのほうに移動した場合の案を別に出させていただいた。

1 つ目のご指摘の建築基準法に対してどうかということでは、グレーチングのようにすることで、建築基準法上は建築物ではないという扱いになり、建築基準法上は適用されないというものになるかと思っている。また、高さを 15m 以下で計画すれば工作物に該当しないという理解をしている。

もう 1 つの災害に対しての構造の話は、建屋のような構造計算を行った上、断面やその設計をさせていただくので、安全性を見て計画することは可能と考えている。

○雄踏斎場について、雄踏パークからの視認性の配慮を求めている中で、配置としてだいぶ雄踏パーク側に寄せられているが、その辺についてご説明いただきたい。

◇雄踏パークは高台になっており、建物を隠すのはなかなか困難を極めるので、隠すというよりは周囲に溶け込む、自然である、そこにあっても不思議じゃないような、そういったところで視認性対策をさせていただいたらどうかということで、この配置を提案させていただいた。

## Bグループ ヒアリング

(自己紹介)

(プレゼンテーション)

(質疑応答)

○緊急時の対応で、浜松斎場まで約 15 分、雄踏斎場まで 30 分とあるが、それは夜間等でもということか。

◇基本的に夜間については警備会社に委託しているので、夜間はもう少し時間がかかる。ただ、日中帯の時間帯であれば弊社から 15 分、30 分で確実に到着するのでご安心いただける運営ができていると思っている。

○中沢町との災害協定の記載はあったが、雄踏に関しての災害協定はないのか。

◇中沢の斎場の近くに建設会社があるので、中沢の自治会様と災害協定を結ばせていただいているという状況である。雄踏については結んでいないが、ご要望があれば前向きに検討したい。

○災害協定の契約書を自動更新としてしまうと、ありがたみがなくなるのでは。自治会長が変わったタイミングなどで定期的に巻き直したほうがいいかもしれないと思ったが、そのあたりのお考えはどうか。

◇自治会長様に話しながら、どういう形が最適かを見据えて、よりよい協定を結んでければと思っている。

- エントランスが地上レベルにあり、地下レベルに駐車場がある計画になっているが、最初にエントランスで人を降ろして駐車場に行く場合には、2 周回らなければいけないのか。
- ◇地下と地上を繋ぐエレベーターと階段を設けているので、地下から入ることも可能である。
- 普段から使う施設ではないので、初めてくる人は車両のアプローチ動線に混乱しないか。
- ◇入ってきたときに自然な流れになるように、サイン計画からも、路面の表示ペイント等をデザインしようと考えている。
- 多目的広場の提案について、構成物や運営といったところの内容の調整は可能であるか。
- ◇これはあくまでも 1 提案で、実際の細かい運用などについては、協議して最善のものを一緒に探らせていただきたいと思いますので、全く問題なく市のご意向に沿う形にさせていただく考えである。
- 雄踏斎場既存棟の件で、土砂災害の特別警戒区域内には新たに建屋が建てられないということで、その対応について事前質問をさせていただいた際には、スクリーンフィルターで対応しますと回答いただいたが、そういう対応でも、排ガスに関する数値は要求水準の求める数値目標をクリアするものと考えてよろしいか。
- ◇バグフィルターまでの性能は発揮できないが、スクリーンフィルターを設置することによって、既存の建屋内に収めることは可能で、性能についても十分、要求水準への対応は可能である。  
当初は今のレッドゾーンエリアを外してバグフィルターを設置するような配置も考えたが、結構大がかりになり、デザイン的にもコスト面でもご要望と違うかと思い、その案は控えさせていただいた。
- 1 つはまずはエントランスがご遺体の搬入と会葬者の搬入がどうも難しそうだなどと思う点と、もう 1 つは雄踏の多目的広場の予約の関係で、子どもたちが楽しむようなイベントと葬式とが馴染むのかという 2 つが気になる。
- ◇まず、エントランスの寄付きについては、車寄せが長いので、霊柩車やバス等の同時利用は可能で、運営上の問題はない。
- 霊柩車が入ってきた時に他の会葬者の送迎と被ることもあると思うが、それは構わないという考え方か。
- ◇そうである。運営上、少し待っていただくことも可能だが、できるだけ葬送の流れを止めないでやっていただくような運営がよいかと思っている。
- 浜松斎場は、1 階と地下のどちらからでも入ってよいとしているが、不慣れな人でも、どちらに着ければいいかわかるのか。
- ◇おっしゃる通りだが、霊柩車の方はプロの運転手なので、霊柩車を 1 階に着けていただくことはお願いできると思う。
- 1 階を霊柩車、地下を会葬者にするような形がいいのでは。
- ◇それも分かりやすいかと思う。

◇多目的広場の話については、太鼓の練習期間は式場のご利用はされないという設定で計画してよいという要求水準であったので、詳細の予約等について我々のほうで想定しているものは今現在ない。実際の利用がもしできるような期間があるのであれば、それは協議の上決めさせていただきたい。

○浜松斎場について、動線的には機能的に計画されているが、1つのまちに対して、炉の機械室のほうを前面に持ってくることに對しての影響はあまりないのか。そうした場合には仕上げ材、見た目には石のような塗り物になっているが、これは本物の石にすると事業費が追いつかないということか。

◇あのエリアの方々に斎場がかなり受け入れられているという状況があり、そこでさらに少し洒落た空間ができたらしめるところを目指して、恒久的な使いやすさを優先した火葬炉配置ということと、街道やまち並みを作るということを考えた外観を構成している。

仕上げ材については、コンクリートに化粧をしたものだが、打ち放しではないので、それなりの風合いが出て、静かな景観は作れると考えている。ただ、仕上げの選定は重要だと考えているので、そこは全体の事業費の中で調整をしながら、ご意見を取り入れて協議させていただきたいと思う。

○浜松と雄踏のデザインコンセプトについて、浜松はまちなか、雄踏は丘陵の近くにある中で、丘陵の近くでは大きな屋根で、まちなかが小さな分設した集合体のデザインにしたお考えについて説明いただきたい。

◇浜松斎場は、機能合理性を優先して儉約した空間で四角い箱を作るとということと、機能構成のブロックとするのが、都市化されたものの中の斎場としてはこの形がふさわしいと考えた。

雄踏斎場は、景観の中に潜んでいる感じの斎場を作ることと、この斎場が地域に馴染んでいって、山みたいな形になるといいかなと考えた。屋根のかけ方は、この形がやりたくてというデザインではなく、機能合理性を考えた結果の形と見ていただきたい。

## Cグループ ヒアリング

(自己紹介)

(プレゼンテーション)

(質疑応答)

○過去に実際に災害が起きた場合に一時避難所として使われたケースがあったか、また、斎場を運営する上では、避難してきた人をまたどこかに動かさなければいけないということはあるのか。

◇実際に一時避難所として使ったことがある事例はないが、今まで過去 PFI 等で提案してきた中で、式場を一時的に避難所として使えるようにと提案させていただいたことはある。

避難してきた人を実際に移動させるということは当然考えづらいので、そういうときは式場機能を一旦停止して、その分、告別収骨室のほうで簡単なお別れができる

ように、そういった配慮はしたいと考えている。

○地元企業様も参加されているので、例えば防災協定といったやり方もあるかと思うが、そのあたりの検討いかがか。

◇防災協定については現在まだ締結していないが、やはり協定締結についてはSPCとして前向きに雄踏地区、中沢地区を中心に締結することを考えている。その際には浜松市様と相談しながら進めたいと考えている。

○車寄せとかの配置計画の中で、日本の車が左側通行の右側ハンドルで、左側に車を寄せなければいけないということで、斎場内の配置は非常に工夫され、一方通行になって交錯もしないといった工夫も見受けられた。

一方で、道路からの進入、入口と出口を分けることによって、浜松斎場の場合は、少し入口が交差点から遠くないかという懸念と、雄踏斎場の場合は、入口と出口の入口側が例えば坂の途中になって、出口から近いほうから登られてきた車は入口までどうやって誘導するのかといった辺に少し懸念があるが、その辺りの対策等をご説明いただきたい。

◇浜松斎場は、どうしても施設の周辺状況から、北側からのアプローチが主になってしまう。従って、敷地に入るときはどうしても右折で入る形が多くなると思うが、距離は法的には問題ない距離を離しており、敷地内に入って直線になっているので、スムーズに進入でき、車寄せにも十分なスペースを取っており、そちらのほうで対策している。

雄踏斎場は、大型バスの利用が多いことからINとOUTを離したいという中で、葬祭事業者にもヒアリングし、ほとんどの車両は南側からアプローチしてくるということで、手前側にまずINを設けてそこから進入して、ぐるっと回ると自然にOUTから出られるという形にしている。また、雄踏パークから霊柩車を隠しつつ、さらに交錯とか公道での渋滞が起らないように考えた中でこの提案をさせていただいた。ただ、他にもまだ色々と考えていたので、選定いただければこのあたりも含めてというIN・OUTがいいかとか、地元の方にもご提示しながら検討していければと思う。

○雄踏斎場の話で、周辺自治会からの要望事項、何か自治会で使いたいようなこともあって、その使い方に関して何か工夫された部分はあるか。

◇まず、地元でのヒアリング、それから直接対話で配られた意見交換会の資料を参考に計画させていただいたが、斎場利用者、地域の方が利用するものなので、設計時に開催する地元説明会にて地元の意見や要望をお聞きし、貴市と相談した上で、使い方を含めて具体的な計画をしたいと考えている。

大枠としては、ベンチや照明の設置のほか、秋祭り等、地域振興活動で使うことも想定して多目的に使うこともできる倉庫を建てたいと思っている。規模は可動式の遊具やお祭りで曳きまわしをする山車や太鼓を収納することができる規模を想定している。

○お祭りなどで自治会が使う日は、斎場は休みになるのか。

◇斎場の休日は条例で定められており、事業者側で勝手に決めることは難しいと思う

ので、要望や地域の実態等を浜松市様と協議の上、柔軟に対応させていただきたいと思う。また、全館休館ではなく、一部エリアの休館といったことも含めてご相談の上対応したいと考えている。

- 雄踏斎場の車両出入口について、OUTが目立ち、INのほうが裏という感じがする。今後、INをちゃんと見えるようにして、OUTのところはグリーンでクランクして内側から出やすくなっていて、入ってくる時には入口には見えないようにするといった工夫は可能か。

また、雄踏斎場の建物を、いまの提案では富士山に合わせた角度とされているが、北側道路と並行に配置するなど、雄踏パークから目立たないような角度に修正することは可能か。

- ◇入口のデザインは、ご意見の通り、やはり玄関は玄関らしい、入口らしいデザインにしたいと思っているので、今後設計を進める中でもう少しきちんと入口としてのデザインをしていきたい。

建物の角度の話は、今回既存の雄踏斎場と新しい斎場、駐車場を一体にして使うので、こういう場合は一体にしてデザインするべきなのではないかと思い、既存斎場に合わせた軸線で設計した。富士山への角度については、そうした時に偶然一致したので提案書に記載したが、蛇足であった。建物の角度を振らない案でも、庇の形を変えたら同じ駐車台数で計画することは可能だと思うので、その辺は振った方がいいか、振らない方がいいのか、一緒にまたご検討させていただければと思う。

- 浜松斎場は2階のファサードをベールで設計されているが、もう少し別の色々なアイデアもあるだろうから、単なるアナロジーで形を決めないでいただきたいと思うがどうか。私の感覚としては、小さいものを大きくするとあまりよくないと思う。ベールが目的ではなく、外と中が見え隠れするという意図であれば、今後ベールにこだわらずに色々和市と検討してもらえるのかどうか。

- ◇視線の交錯というか、中が丸見えにならないように、それから柔らかい光が入るよという事で、今アルミのメッシュ状の素材を外壁の周りに設けていて、柔らかい感じを表現するのにベールという形で説明させていただいた。平面的にアールで波打つような形を計画しているが、そのアールもどのぐらいの角度がいいとか、メッシュの隙間や太さというのは今後いろいろ検討しながらどのような形がいいのか、今後全体的なイメージもそうだが、検証させていただければと思う。

- メンテナンスの面も考えて検討いただきたい。

- 貴グループで一番利点にされていると思われたのが、火葬炉の熱交換システムで非常にコンパクトになるということかと感じている。非常に建屋も抑えて、バグフィルター用に増設する必要もないなど利点はよくわかったが、あえて熱交換方式で何か、逆にデメリットというか、今までこういう指摘を受けたことがあるとか、もしあれば教えていただきたい。

- ◇デメリットとしては、はっきり申し上げると既にある。過去に、熱交換器が結露して、そこに灰などが付着して環境性能が低下してしまうトラブルが多々あったが、それらが起きないように徹底して研究開発を繰り返したので、熱交換器に関する課

題は既にクリアしている。火葬炉メーカーの中で熱交換器の開発を諦めずに続けてきたのが我々だけで、昔のデメリットを色々指摘されることもあるが、どう考えても今のところデメリットはない。

○かつての熱交換方式の欠点は全部クリアしましたということでよいか。

◇そうである。

○メンテナンス性はどうか。

◇メンテナンスは、年に1回火葬炉施設の総合点検を行うが、その際に熱交換器のフィルターを弊社の技術者が取り外しをして箒でサラサラと払って終了、その程度のメンテナンスの手間である。

○雄踏斎場は左右対称形なので事務所が真ん中に来ざるを得ないと思うが、そうしたときに、外気に面さない状態になってしまう。不可能であれば仕方がないが、できたらその辺りもクリアしていただきたいという希望である。

◇斎場のプランニングで事務所の考えは2つあり、1つはエントランス近くに配置するプラン。もう1つは、今回の案で中に配置するプランで、この案のメリットは炉室と近いということ。そうすると中の職員の人達が一体にでき非常に運営効率がよいので、運営サイドとしては望まれることが多い。今回はPFIなので、運営効率のほうを優先したという考えである。ただ、どちらも一長一短で悩むようなところでもあるので、また浜松市様と運営の意見もお聞きしながら検討していきたいと思う。

◇維持管理運営企業から補足であるが、マルチスタッフ方式を提案しており、事務係がずっと事務室にいるとか、案内係はずっと外にいるということではなく、常に回っており、同じ人が常に事務室にいる訳ではないという点だけ補足させていただく。

## 議題2 提案内容の評価について

(採点集計結果の確認)

(決定)

○採点結果について、意見あればお願いしたい。

※異議なし※

## 議題3 最優秀提案者の決定

(入札書の開札)

(総合評価結果について事務局より共有)

(決定)

○最優秀提案者の決定について、委員の皆様よろしいか。

※異議なし※

## 議題4 審査講評

事業実施にあたっての要望について

(意見)

- 災害時の避難所利用の具体性、災害協定の検討についてしっかりいただきたい。
- 自治会の要望事項と斎場の公的な機能の両立にあたっての調整に配慮いただきたい。
- 中沢子どもの森と雄踏斎場の多目的広場について、地元と調整いただきたい一方で、市の土地ということで実現できない要望もあるので、市とも調整いただきながら、案を詰めていってもらいたい。
- 浜松斎場のファザードについて、2階が見え隠れする提案はよいが、ベールというのは西洋概念であり、地域の葬送とかそういったものに対応するような機能と空間を求めているので、もう一步踏む込んだ提案を期待したい。
- 浜松斎場の敷地内に、中沢 101 号線に平行して敷地内周回路を設けているが、前面道路の交通量もそこまでない中で、本当に必要かどうか市とも打合せして、不必要であれば、庭を拡大して全て豊かな緑にするといった方法なども一度検討いただきたい。
- 雄踏斎場の増設棟について、前面道路に並行に建物をセットしたほうが雄踏パークからも角度が小さくなり目立ちにくい中で、雄踏増設棟の軸線を既存棟に揃えるという提案であるが、それが山の中にある既存棟とどれだけ一体的に見えるのかであったり、どのラインに合わせるのが一番効果的であるのかというのを、言葉や頭の中だけで決めずに、CG を作成したりして市としっかり確認した上で、検討いただきたい。
- 雄踏斎場増設部分の出入口について、IN と OUT を分けていることはよいが、地元からは坂道の途中に入口を設けることに少し懸念されている声も聞かれているので、その辺りの配慮について調整いただきたい。
- 駐車場の出入口について、IN と OUT を分けることは正しい。ただ、特に雄踏斎場の IN の入り方は、来場者にとって入口が分かりやすいものとなるよう、例えば、最初に大きなスペースやロータリーを設けてそこから IN と OUT に入っていくとか、工夫の仕方についてもう少し考えていただきたい。

#### 審査講評について

- Aグループは、浜松斎場の待合部分をL字型にして、中からの景観を工夫されていたが、一方でそれが構造を複雑にしてしまっているように思う。  
駐車場動線の計画は、Cグループが一番工夫されていた。  
Bグループは、バランスよく設計、検討されており、既存の細かいところまで配慮されているなど感じた。  
炉の問題、建物の構造、コンパクトであるという意味では、Cグループが最終的にはよいと思ったが、運営や設計の考え方は、Bグループが優れていると感じた。
- Aグループは、地元材の使用や地元地域の経済に関して、とても配慮している提案であった。色々分けることで限られた敷地を工夫することでエネルギーに関して効率よく使えるように、その辺の配慮もされていたと思うが、逆にそういうことを配慮するがゆえに動線が複雑になったように思う。  
Bグループは、運営や特に地域への配慮等は、例えば雄踏増設棟であれば式場を地

域に開放するとか、そういったところまで踏み込んで提案いただいたので、地域と一緒にやっっていこうという姿勢がとてもよく出た提案であったと思う。ただ、敷地内の動線に関しては、感覚としてはぐるっと遠回りをさせてしまうだとか、会葬が重なったときにそこを重ねてしまうとか、そういったところの配慮がもう少しされたような提案になるとよかったと感じた。

○景観的にはBグループが好きで、屋根の形状とか森の中の溶け込み方はよかったのではないかと思うが、Cグループの方が1つ1つに関して欠点や長所をよく検討して最終的に選ばれているというところが考えられており、一番良いと感じた。

Aグループは、資金調達に関して少し足りない部分があり、長期融資や建設期間中の資金調達に関してもプレゼン時にあまり説明がなかった。提案書には書いてあったが、グループの中でこの部分にはあまり重きが置かれていないのかなという気がした。

○Bグループは、造形的なよさがあった。浜松斎場は、形的にはうまく分設してまとめてあったが、それがまちの中の葬儀場といったときに、顔でないところをメインの通りに向けており、もう一つ理解が得られなかった。雄踏斎場も、大きな屋根で統一感を持って作る造形はいいかもしれないが、目立たなくするというなかで、必然性を感じなかった。

Aグループは、周りのまちと緑の連続というところに重点を置かれており、公園に向かって建物を配置したことは評価できると感じた。

○ワークショップで中沢子どもの森の活用も地元と一生懸命やるという話は、Aグループのみが提案しており、地域に溶け込ませるという配慮はよかったと思う。

◎いただいた意見を踏まえて、事務局で審査講評を作成し、各委員に共有するため、確認いただきたい。

#### 審議の結果

議題1 事業者ヒアリングについて、実施した。

議題2 提案内容の評価について、確認した。

議題3 最優秀提案者について、決定した。

議題4 審査講評の意見交換について、行った。

6 会議資料の名称 次第、提案書採点表、事業者への事前質問回答表、プレゼンテーション実施要領、審査講評（案）

7 発言内容記録方法 文字 / 録画 /  録音

8 会議録署名人 寒竹 伸一 新谷 直幸